

2024年11月8日

株式会社博報堂DYホールディングス

博報堂DYホールディングス、「サステナビリティ方針」を策定
2030年に向けた「重要課題（マテリアリティ）」もアップデート

株式会社博報堂DYホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）は、グローバルパーパス^{※1}および新中期経営計画^{※2}に伴い、「サステナビリティ方針」を策定いたしました。また、2030年に向けた「重要課題（マテリアリティ）」もアップデートしました。

新たな中期経営計画では、取り組むべき重要なテーマの一つとして「人を中心としたサステナブルな経営」を掲げています。当社グループの最大の強みは「生活者発想」であり、生活者・企業・社会をつなぐクリエイティビティです。「人」の力を最大限に活かすことで、当社グループおよび社会のサステナビリティの実現を目指します。

今回策定した「サステナビリティ方針」では、急速に変化する事業環境・社会環境のなか中長期的な視点にたち、ステークホルダーとの取り組みを通じて生活者の想いがあふれ、いきいきと活躍できる社会を実現することを目的に、「重要課題（マテリアリティ）」と「活動方針」を新たに策定。サステナビリティへの取り組みを、企業としての社会的責任を果たすだけでなく、当社グループの価値創造のために不可欠なものとして位置づけ、環境・社会・ガバナンスの3分野で9つのマテリアリティを設定しました。また、それぞれのマテリアリティについて具体的な活動方針を定め、グループ各社との連携のもと推進し、グループサステナビリティ委員会を通じて進捗をモニタリングすることで実効力を高めていきます。

今後も社会やステークホルダーに対応しながら、当社グループの経済価値と社会価値の創出を同時に実現することを目指してまいります。

■博報堂D Yグループの「サステナビリティ方針」と「重要課題（マテリアリティ）」

PURPOSE		生活者、企業、社会。それぞれの内なる想いを解き放ち、時代をひらく力にする。 Aspirations Unleashed	
人を中心としたサステナブルな経営	方針	重要課題（マテリアリティ）	
	E (環境) 持続可能な地球環境への貢献	地球環境との共生に向け企業としての取組を果たすと共に、生活者発想と生活者、企業、社会をつなぐ力を活かし、サステナブルな行動変容を実現する	気候変動へのアクション サステナブルな行動変容への貢献
	S (社会) 多様な個の成長と尊重によるクリエイティビティの発揮	社員一人ひとりの想いを解放し、専門性や先進性を向上させる生活者発想と共創力によりクリエイティビティを発揮し、生活者、企業、社会の課題を解決する	専門性と先進性を発揮する人材への 投資・育成・環境整備 ウェルビーイングの推進 DE&Iの推進 将来人材や地域コミュニティへの貢献
	G (ガバナンス) コンプライアンスとインテグリティの追求	社員一人ひとりが信頼にこたえる責任と向き合い、自らが持つクリエイティビティを正しく発揮することで、社会へのポジティブなインパクトを生み出す	人権の尊重 コンプライアンス/高い倫理性の堅持 マーケティング活動における インテグリティ（誠実性）

なお、マテリアリティの特定ステップや各項目における実績などの詳細は、当社サイトの「統合報告書 2024」および「ESG データブック 2024」※³、「サステナビリティ」ページ※⁴をご参照ください。

※1：博報堂D Yグループのグローバルパーパス

https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/hdy_purpose/

※2：博報堂D Yグループの中期経営計画

<https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/group/businessplan.html>

※3：博報堂D Yグループ「統合報告書 2024」および「ESG データブック 2024」

<https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/csr/ir/>

※4：博報堂D Yグループのサステナビリティ

<https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/csr/basics/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂D Yホールディングス グループ広報・IR室 玉

koho.mail@hakuhodo.co.jp